

(11) 日常的な会話をする

ア 概要

(ア) ねらい

日常的な会話をするスキルについて学びます。自分から話しかける、相手の話を聞くと
いったポイントについて学びます。

(イ) 時間設定 (50分)

① 動機づけ (5分)

日常的な会話をする意義を理解し、動機づけを高めます。

② 悪い例の提示 (10分)

ロールプレイで、日常的な会話をするスキルがうまくできていない2人の例を体験
します。

③ ポイントの提示 (5分)

日常的な会話をするポイントを確認します。

④ 良い例の提示 (5分)

ロールプレイで、日常的な会話をするスキルが上手にできている例を体験します。

⑤ 実践練習 (20分)

利用者に実践練習をしてもらいます。

⑥ 振り返り (5分)

セッションを振り返り、発展課題を提示します。

(ウ) グループで実施する場合

グループサイズは、4～6名が適当です。スタッフは、進行役とは別に、ホワイトボー
ドに板書するスタッフがいると良いです。

(エ) レイアウト

テキスト学習時は、グループで机を囲んで座る。ロールプレイ時は、立ってできること
が望ましい。

(オ) 準備物

本冊子収録の資料、筆記できる机がない場合は筆記用画板、ホワイトボード

イ トレーニングの進め方

(ア) 動機づけ (5分)

○このセッションのねらい、進め方を説明します。

○日常的な会話をするスキルを身につける意義を理解し、セッションへの動機づけを高めます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ グループの場合、初めに利用者を紹介します。利用者の状態によっては、自己紹介も良いでしょう。
- ・ アイスブレイク活動を入れると、場の雰囲気が和やかになります。

1 **1 1 日常的な会話をする**

雑談のような日常的な会話は、周囲の人との良い関係を作っていくうえで、重要な会話です。しかし、「何か話したいけど、何を話せばいいんだろう。」とか、「どんな風に話せばいいんだろう。」と思って、話せないということもあります。

日常的な会話を上手にできるようになることで、人と一緒に過ごすことが楽しくなります。



2

◎ 日常的な会話をするには、どのようなことに気を付けたら良いでしょうか？

メモ

1 人間関係を良好にするために、日常的な会話をするのが効果的です。しかし、日常的な会話は決まった形が分かりにくいいため、難しく感じられます。

日常会話をするのは、様々なコミュニケーションスキルの応用が必要になります。日常会話の練習をする際は、これまで学んできたスキルが身についているかを確認しながら進めると良いでしょう。

2 日常的な会話をする時、どのようなことに気を付けたら良いでしょうか。あなたの考えをメモ欄に書いてください。

【2、3分考える時間を取ります。】

3 メモ欄に書いたことを教えてください。

【出された意見を板書して、グループで共有します。】

★利用者には、出された意見を肯定的に受け止め、批判しないよう注意しておく。

★考え方の違いや、気づきを共有する。

特に意見が出ない場合は、実施者がいくつか例を出して導入を行い、次に進みましょう。

ここで無理に意見を言わせようとする必要はありません。徐々に、緊張を和らげていくようにしましょう。

P109

・ チェック・ポイント

- 利用者は、日常的な会話をするスキルの重要性を理解し、動機づけが高まっていますか？
- 利用者が意見を言いやすい雰囲気作りができていますか？
- 利用者が考える時間を確保しましたか？

(イ) 悪い例の提示 (10分)

- ロールプレイで、日常的な会話をする事ができていない2人の例を体験します。
- 悪い例を体験することで、日常的な会話をするスキルの重要性を理解してもらいます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ 個別の場合は、オド美さん、ツン太くんを実施者が演じ、とさ子さんを利用者が演じます。
- ・ グループの場合は、利用者同士で2人組になって、ロールプレイを行います。奇数の場合は、3人組や2人目のスタッフが入ると良いでしょう。
- ・ ロールプレイに参加できなくても、観ているだけでも効果があります。
- ・ ロールプレイが行いやすいように、適宜、椅子を移動しましょう。

1 (1) オド美さんとツン太くんの場合を見てみましょう

オド美さんとツン太くんは、とさ子さんと2人きりになりました。とさ子さんと話したいとオド美さんとツン太くんは思っています。

オド美さんの場合	ツン太くんの場合
<p>オド美さん：あ…、あの…。</p> <p>とさ子さん：ん？なに？</p> <p>オド美さん：えっと…、う～んと…。</p> <p>とさ子さん：どうしたの？</p> <p>オド美さん：う、うん。あのね。</p> <p>とさ子さん：うん。なに～？</p> <p>オド美さん：え…、あの…、なんでもない。</p> <p>とさ子さん：そっか…。</p>	<p>ツン太くん：アルゼンチン負けたわ。</p> <p>とさ子さん：え？何の事？</p> <p>ツン太くん：は？W杯に決まってるだろ！</p> <p>とさ子さん：ごめんね。私サッカーあんまり詳しくなくて…。</p> <p>ツン太くん：W杯くらい見るだろ！ふつう！</p> <p>とさ子さん：そんな言い方しなくていいでしょ！</p>



2 ◎ オド美さんとツン太くんのやり取りをみてどう思いましたか？
オド美さんとツン太くんの対応のどこを変えると良いでしょうか？

メモ **3**

1 日常的な会話をする事ができない人のコミュニケーションを体験してみましょう。

＜個別の場合＞
私が、オド美さん、ツン太くん役をするので、○○さん（利用者）はとさ子さん役をしてください。

＜グループの場合＞
2人組になって、オド美さんととさ子さんの会話をした後、ツン太くととさ子さんの会話をしてみましょう。

悪い例をロールプレイする方法には以下のようなパターンがあります。

- ①利用者がオド美さんをする
- ②利用者がツン太くんをする
- ③利用者がとさ子さんをする

コミュニケーションの幅を広げるには、オド美さんタイプの利用者には、ツン太くんをしてもうなど、普段やらない行動をしてもらうことも効果的です。

利用者のロールプレイへの抵抗を減らすように、いろいろなパターンを取り入れながら進めましょう。

2 オド美さんとツン太くんのやりとりを観て、考えをメモ欄に書いてください。

【2、3分考える時間を取ります。】

3 メモ欄に書いたことを教えてください。

【出された意見を板書して、グループで共有します。】

- ★利用者には、出された意見を肯定的に受け止め、批判しないよう注意しておく。
- ★考え方の違いや、気づきを共有する。

・ チェック・ポイント

- 利用者は、オド美さん、ツン太くんのコミュニケーションのどこに問題があるか理解していますか？
- 利用者は、オド美さん、ツン太くんのコミュニケーションでとさ子さんがどのような気持ちになるかを理解していますか？

(ウ) ポイントの提示 (5分)

○日常的な会話をするポイントを確認します。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ ポイントを説明する時は、実施者の方を向いてもらいます。
- ・ 利用者同士の考えを出し合い共有することも良いでしょう。

1

(2) オド美さんとツン太くんの例から、日常的な会話には次のようなポイントがあります

自分から話しかけるポイント (「2 会話を始める」も参考にしましょう)

① **天気や気温の話から始める**

- ・ 天気や気温の話は、誰にとっても共通の話題です。
- ・ 「今日暑いね」「今日はすごい雨だね」と話をまず切り出してみましょう。

② **身近な話題を選ぶ**

- ・ 身近な話題であると、話が続きやすくなります。
- (例) ドラマ、アニメ、ニュース、ワイドショーネタ、おすすめのお店屋さん

③ **自分の気持ちを伝える**

- ・ 話題に対して、自分はどう思うか、どう感じるかを伝えましょう。
- (例) 面白かった、びっくりした、自分もやってみたくなった など

相手の話を聞くポイント (「3 上手な話の聴き方」も参考にしましょう)

④ **オープンな質問をする**

- ・ 自分が話すだけでなく、相手の話も聴きましょう。
- ・ オープンな質問とは「はい」「いいえ」で答えられる質問ではなく、「このお店どうだった?」「どこに行ったの?」「どうやって行ったの?」といった相手に自由に答えてもらうことのできる質問です。

⑤ **相づちを打つ**

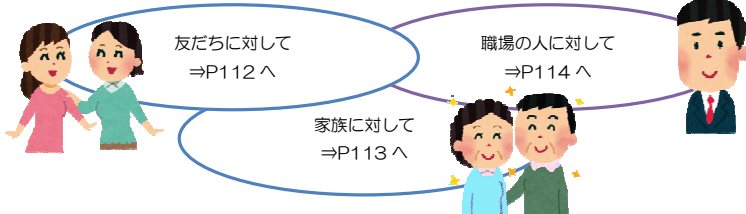
- ・ 相手の話に合わせて、相づちを打ちましょう。
- (例) 「うんうん」とうなずく。「そうなんだ」「それで?」など
- ・ 八行は相づちに使いやすいです。
- (例) 「は~」「へえー!」「ふんふん」 など

⑥ **相手の伝えなかったことを繰り返す**

- ・ 相手の伝えなかったことを簡潔に繰り返しましょう。
- ・ 特に相手の気持ちのこもっている部分を繰り返すとより良いです。

2

生活の中で、どのような人と日常的な会話をするでしょうか?



P111

1

1 日常的な会話のポイントを見ていきましょう。

ポイントを説明した後に、利用者ならそれぞれのポイントをどのように取り入れるかを考えてもらうと、より実践しやすくなります。

ポイントが多いため、「自分から話しかけるポイント」と「相手の話を聴くポイント」に分けて説明し、ロールプレイでもこの2つのパートに分けて練習するとよいでしょう。

また、緊張が強くなると話題を思いつかなくなってしまうため、まずは最初に話す話題として、「②身近な話題を選ぶ」に関しては、利用者が話しやすい話題を決めておくといよいでしょう。

2

2 普段の生活で経験する可能性の高い相手を対象にした練習をするために、次の3つから練習する場面を選びましょう。

上手な例を練習する時には、次のようなパターンがあります。

① 1つの場面だけ練習する

② すべての場면을練習する

1つの場면을練習する場合、利用者の普段の生活に近い状況を選びましょう。

繰り返し実践して、練習することが重要です。利用者の緊張を解すように、簡潔なロールプレイをできるだけ反復するため、すべての場면을練習するのもよい方法ですが、同じ場면을反復練習する方が、普段の生活で実践する可能性が高まります。

・ チェック・ポイント

□利用者は、日常的な会話をするポイントを理解していますか?

(エ) 良い例の提示（友だちに対して）（5分）

○良い例を体験することで、日常的な会話をするスキルの重要性を理解してもらいます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ ロールプレイでは、個別の場合は、ハナ子さんを実施者が演じ、かつ子さんを利用者が演じます。
- ・ グループの場合は、同じグループで2人組になって交互に、ロールプレイを行います。
- ・ ロールプレイが行いやすいように、適宜、椅子を移動しましょう。

1 (3) 日常的な会話が上手だとウワサのハナ子さんの会話を見てみましょう
～友だちに対して～

ハナ子さんは、かつ子さんと2人きりになりました。ハナ子さんは、かつ子さんと話したいと思っています。

ハナ子さん：かつ子さん。今日雨大丈夫だった？ ① 天気や気温の話から始める

かつ子さん：あ、ハナ子さん。うん。そんなに濡れずに来れたよ～。

ハナ子さん：そっか。よかった～！
そういえば、かつ子さん、〇〇ってお店知ってる？

かつ子さん：う～ん。知らないな～。 ② 身近な話題を選ぶ

ハナ子さん：今日雨だったから、いつもと違う道通ってきたら、〇〇っておしゃれなカフェ見つけたんだ。

かつ子さん：そうなんだ。カフェはたまに行くけど、〇〇は行ったことないな～。

ハナ子さん：すごいおいしそうなおいがしてたんだ～。今度行って感想教えるね。

かつ子さん：うん！ ③ 自分の気持ちを伝える

ハナ子さん：かつさんは、いつもどんなところに行ってるの？

かつ子さん：う～ん。私は駅の近くにある～。 ④ オープンな質問をする

ハナ子さん：うんうん。 ⑤ 相づちを打つ

かつ子さん：〇〇というカフェかな～。 ⑥ 相手の伝えたかったことを繰り返す

ハナ子さん：〇〇っていうカフェがあるんだ。

かつ子さん：うん。パンケーキがおいしいんだよ～。

ハナ子さん：パンケーキいいな～！詳しい場所教えてくれる～？

.....(会話が続く).....

1 日常的な会話が上手な人のコミュニケーションを体験してみましょう。

上手な例を練習する時には、次のようなパターンがあります。

- ①利用者がハナ子さんをやる。
- ②利用者がかつ子さんをやる。
- ③実施者がハナ子さんとかつ子さんをやる。

また、グループの場合、2人組になって、お互いにハナ子さんとかつ子さんをやることもできます。もしくは、3人組になって、1人は観察者をしてもらうこともできます。

いずれにしても、繰り返し実践して、練習することが重要です。利用者の緊張を解すように、簡潔なロールプレイをできるだけ反復しましょう。

★練習する6つのポイントを意識して演じてもらう。利用者ができているポイントをしっかりと誉める。

★できないポイントがあれば、繰り返し練習してみても良い。

2 ハナ子さんのように接した時、かつ子さんは、どんな気持ちになると思いますか？

★簡単に感想を聴く程度にする。

P112

・ チェック・ポイント

- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションで、かつ子さんがどんな気持ちになるかを理解できていますか？
- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションのポイントを理解していますか？

(オ) 良い例の提示 (家族に対して) (5分)

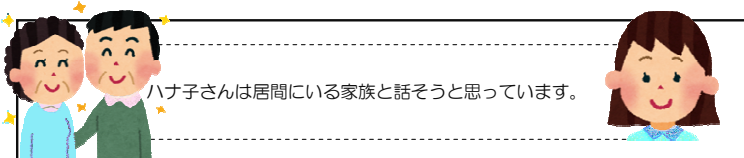
○良い例を体験することで、日常的な会話をするスキルの重要性を理解してもらいます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ ロールプレイでは、個別の場合は、ハナ子さんを実施者が演じ、家族を利用者が演じます。
- ・ グループの場合は、同じグループで2人組になって交互に、ロールプレイを行います。
- ・ ロールプレイが行いやすいように、適宜、椅子を移動しましょう。

1

(4) 日常的な会話が上手だとウワサのハナ子さんの会話を見てみましょう
～家族に対して～



ハナ子さんは居間にいる家族と話そうと思っています。

ハナ子さん：おはよ～。今日暑いね～。 ① 天気や気温の話から始める

家族：うん。今日は今年で一番の暑さになるんだって。

ハナ子さん：そうなんだ！どおりで暑いはずだ～。そういえば、今日、海町さくらのサスペンスが放送される日だね。

家族：あれ？そうだった？ ② 身近な話題を選ぶ

ハナ子さん：そうだよ～。あれすごく面白いんだ！ ③ 自分の気持ちを伝える

家族：そうなんだ～。ハナ子いつも見てるもんね～。

ハナ子さん：うん。毎週楽しみにしてるの！(家族の名前)はテレビいつも何してるの？

家族：う～ん。いつも何見てるかな～。 ④ オープンな質問をする

ハナ子さん：うんうん。 ⑤ 相づちを打つ

家族：あ～。クイズ番組とか見てるわ～。

ハナ子さん：クイズ番組見てるんだ！ ⑥ 相手の伝えたかったことを繰り返す

家族：そうだね～。何が正解なんだろうって思いながら見てると楽しいからね。

ハナ子さん：どれぐらい正解できるの？

.....(会話が続く).....

2

1 日常的な会話が上手な人のコミュニケーションを体験してみましょう。

上手な例を練習する時には、次のようなパターンがあります。

- ①利用者がハナ子さんをする。
- ②利用者が家族をする。
- ③実施者がハナ子さんと家族をする。

また、グループの場合、2人組になって、お互いにハナ子さんと家族をすることもできます。もしくは、3人組になって、1人は観察者をしてもらうこともできます。

いずれにしても、繰り返し実践して、練習することが重要です。利用者の緊張を解すように、簡潔なロールプレイをできるだけ反復しましょう。

★練習する6つのポイントを意識して演じてもらう。利用者ができているポイントをしっかりと誉める。

★できないポイントがあれば、繰り返し練習してみても良い。

2 ハナ子さんのように接した時、家族はどんな気持ちになると思いますか？

★簡単に感想を聴く程度にする。

P113

・ チェック・ポイント

- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションで、家族がどんな気持ちになるかを理解できていますか？
- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションのポイントを理解していますか？

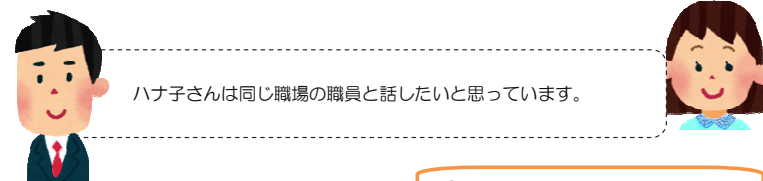
(カ) 良い例の提示（職場の人に対して）（5分）

○良い例を体験することで、日常的な会話をするスキルの重要性を理解してもらいます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ ロールプレイでは、個別の場合は、ハナ子さんを実施者が演じ、職員を利用者が演じます。
- ・ グループの場合は、同じグループで2人組になって交互に、ロールプレイを行います。
- ・ ロールプレイが行いやすいように、適宜、椅子を移動しましょう。

1 日常的な会話が上手だとウワサのハナ子さんの会話を見てみましょう
～職場の人に対して～



ハナ子さんは同じ職場の職員と話したいと思っています。

① 天気や気温の話から始める

ハナ子さん： すごくいい天気になりましたね～

職員： そうですね。今日は気持ちのいいお天気ですね。

ハナ子さん： 今日は朝のニュースでとってもいいお天気になるって言っていたので、急いで洗濯物干して来たんです。

職員： これぐらい晴れたら洗濯物を干したのは大正解でしたね。

② 身近な話題を選ぶ

③ 自分の気持ちを伝える

④ オープンな質問をする

ハナ子さん： はい。嬉しくなりますね。〇〇さんは、いつもお風呂飯はどうしておられるんですか？

職員： いつも外で食べてますね。なかなか、自分で作るのは難しくて。

ハナ子さん： うんうん。 そうですね。

職員： はい。まあ、上司とか同期とか一緒に食べに行くと楽しいですし。

ハナ子さん： 一緒に食べに行くと楽しいですよ。

⑤ 相づちを打つ

⑥ 相手の伝えたかったことを繰り返す

職員： はい。いろいろなお店に行ったりするので飽きないですよ。

ハナ子さん： へえ～。どんなお店に行ったりするんですか？

.....(会話が続く).....

2

1 日常的な会話をするのが上手な人のコミュニケーションを体験してみましょう。

上手な例を練習するときには、次のようなパターンがあります。

- ① 利用者がハナ子さんをやる。
- ② 利用者が職員をやる。
- ③ 実施者がハナ子さんと職員をやる。

また、グループの場合、2人組になって、お互いにハナ子さんと職員をすることもできます。もしくは、3人組になって、1人は観察者をしてもらうこともできます。

いずれにしても、繰り返し実践して、練習することが重要です。利用者の緊張を解すように、簡潔なロールプレイをできるだけ反復しましょう。

★練習する6つのポイントを意識して演じてもらう。利用者ができているポイントをしっかりと誉める。

★できないポイントがあれば、繰り返し練習してみるのも良い。

2 ハナ子さんのように接した時、職員は、どんな気持ちになると思いますか？

★簡単に感想を聴く程度にする。

P114

・ チェック・ポイント

- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションで、職員がどんな気持ちになるかを理解できていますか？
- 利用者は、ハナ子さんのコミュニケーションのポイントを理解していますか？

(キ) 実践練習 (20分)

- 利用者に実践練習をしてもらいます。
- 実践練習を繰り返し行うことで、日常生活で実践する自信をつけることができます。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ ロールプレイのやり方を説明するときは、実施者の方を向いてもらいます。
- ・ 個別の場合は、誰を相手にコミュニケーションを練習することが、利用者に役立つかを検討したうえで、その相手を実施者が演じます。
- ・ グループの場合は、利用者同士で2人組になって、交互にロールプレイを行います。練習した後はグループ全体の前でロールプレイの発表をし、全体で意見交換をすることもできます。
- ・ ロールプレイが行いやすいように、適宜、椅子を移動しましょう。

1

(6) 実際に2人組で練習してみましょう

<ロールプレイ>

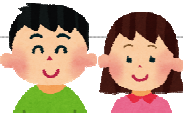
☆場面設定☆

いつ:

どこで:

誰に:

何を:



～自分から話しかけるポイント～

①: 天気や気温の話から始める

②: 身近な話題を選ぶ

③: 自分の気持ちを伝える

～相手の話を聴くポイント～

④: オープンな質問をする

⑤: 相づちを打つ

⑥: 相手の伝えたかったことを繰り返す

★コミュニケーションの基本姿勢も忘れずに★

第3 相手の方を向き、視線を相手の方に向けましょう

第4 自分の気持ちが伝わる表情をしてみましょう

第5 相手と程よい距離を取りましょう

第6 相手によく聞こえる声の大きさと、ゆっくりと話しましょ

2

第1 練習してみてどう感じましたか?

メモ

第2 練習してみて良かったところをあげてみましょう。

例えば…

姿勢・視線・表情・声の大きさ・声のトーン・伝わる雰囲気・印象に残った言葉など

メモ

1 実際に2人組になって、自分から話しかける3つのポイントと、相手の話を聴く3つのポイントを意識しながら、練習してみましょう。

<個別の場合>
誰とのコミュニケーションを練習したいかを、まず考えましょう。

<グループの場合>
2人組になって交互に、ロールプレイを行います。相手役をする人は、シナリオの相手役の人になったつもりで振舞いましょう。

練習した後に、皆さんの前でロールプレイの発表をします。

2 ロールプレイでは

- ①まず、練習した人が、感想を話します。
- ②その後、練習した人が、自分のコミュニケーションの良かったところをあげていきます。
- ③そして、最後にこうするともっと良くなるという点を1つだけ考えます。

この順番を守ってロールプレイをしましょう。

ロールプレイを振り返る中で出てきた意見をメモしておく、後で振り返るのに役立ちます。

利用者の緊張が解れているようであれば、実施者が適度にアドリブを入れてロールプレイをしましょう。

グループの場合、実施者を相手に1人ずつロールプレイを披露しても良いです。

ロールプレイを反復して行うことで、スキルが利用者に定着します。

★グループの場合は、意見交換しても良い。ただし、批判をしないように注意しておく。

・ チェック・ポイント

- 利用者は、ロールプレイを実施できていますか?
- 利用者は、ポイントを踏まえたロールプレイができていますか?
- 利用者は、ロールプレイの良かったところを見つけられていますか?
- 利用者は、ロールプレイの改善点として、練習した人が実践できそうなポイントをあげていますか?

(ケ) 振り返り (5分)

- セッションを振り返り、発展課題を提示します。
- 利用者が実践し、成功できる発展的課題を提示することで、日常場面への展開を促します。

【実施者が配慮すると良いこと】

- ・ グループの場合は、セッション開始時の輪になって座ります。
- ・ グループの場合は、感想等を発表し合うなど利用者同士の共有を促しましょう。

1 こうするともっといいかも!というところをあげてみましょう。

メモ

2 振り返り

◇ 今日のポイントを振り返ってみましょう。

1) どれくらい達成できましたか? 【◎ 大変よくできた、○ よくできた、△ もう少し】

2) どれくらい自信がありますか? 【◎ 大変自信がある、○ 自信がある、△ もう少し】

3) 次回、挑戦したいポイントの挑戦の枠にチェック(✓)をしましょう。

ポイント	達成度	自信	挑戦	気付いたことがあれば書いてみましょう。
① 天気や気温の話から始める				
② 身近な話題を選ぶ				
③ 自分の気持ちを伝える				
④ オープンな質問をする				
⑤ 相づちを打つ				
⑥ 相手の伝えなかったことを繰り返す				

3 プログラムをしてみてくださいか? (当てはまる数字に○をつけましょう。)

非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満
5	4	3	2	1

感想

4

☆ 今日したことを生活の中で実践してみましょう。
家族、友だち、学校の先生や職場の人にやってみましょう。

☆ 次回は、振り返りでチェック(✓)をした挑戦したいポイントに注意しながら練習してみましょう。

日常的な会話の話題は、天気や気温など、ちょっとしたことで十分です。自分が好きなことや興味のあることだともっと話しやすくなります。特に、相手と好きなことや興味のあることが共通していると、話は一段と盛り上がるでしょう。

1 こうするともっと良くなるところを1つだけあげてみましょう。

★グループの場合は、意見交換をしても良い。ただし、批判をしないように注意しておく。

2 今日の練習を振り返ってみましょう。挑戦したいポイントを1つ決めて、普段の生活で挑戦してみましょう。

★利用者ができていたと感じていた部分を認める。
★実施者は、利用者の振り返りの状況を把握しておき、以後の支援に生かすようにする。

3 プログラムをやってみてどうでしたか。満足度を5段階で表し、感想を書き込んでみましょう。

【利用者の意見を聞きます。】

★利用者には、出された意見を肯定的に受け止め、批判しないよう注意しておく。
★考え方の違いや、気づきを共有する。

4 ここで練習したことを普段の生活の中で実践することが重要です。今回練習したスキルをどんな時に使いたいと思いますか?

今回学んだことを次回までに実践してください。そして、その実践したことを、「SST のホームワーク」のシートに記入し、感想を教えてください。

・ チェック・ポイント

□利用者は、次回のセッションまでに実施する機会のある課題を設定できましたか?

□利用者が次回のセッションに取り組む課題は、利用者が実行可能な難しさですか?

□利用者が、次回のセッションに取り組む課題を実行したとき、周囲の人は好意的に反応しますか?

□次回までの課題に取り組む意欲がありますか?